



4月 調布幼稚園だより

令和6年4月9日



子どもたちの笑顔が輝く調布幼稚園

園長 山形美津子

園庭の桜の花が満開となり、春爛漫の季節になりました。待ちに待った幼稚園での新しい生活が始まります。

入園するお子様の保護者の皆様、お子様のご入園おめでとうございます。

進級するお子様の保護者の皆様、ご進級おめでとうございます。子どもたちもご家族の皆様も今日の日を楽しみにしておられたことでしょう。

調布幼稚園は、今年度、3歳児年少組47名、4歳児年中組54名、5歳児年長組75名の計176名の園児でスタートします。多くの幼稚園がある中で調布幼稚園を選んで下さり、入園して下さいました皆様のご期待に添えるよう教職員一同、全力でお子さまの教育に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

調布幼稚園の教育目標は『生きる力をはぐくむ』です。子どもたちに、分かりやすい言葉で、

元気いっぱい 夢いっぱい 友達いっぱい 笑顔かがやく調布の子

とし、子どもたちにもこのような子どもになりたいという気持ちを育て、自己肯定感の高い子どもを育てるよう取り組みます。

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。本園は、やりたい遊びを見付け、豊かな体験を通して、感じたり、気付いたりできるような環境を用意していきます。そして、多くの友達と関わる中で、友達と共通の目的の実現に向けて、思いや考えなどを共有したり協力したりする経験を通して充実感や満足感を味わえるようにしていきます。

また、本園は都心にありながらも「こどもの畑」があり、ウメの木やミカンの木、ビワの木などがあり、緑豊かな自然環境に恵まれた幼稚園です。この優れた環境を生かした保育の充実を目指します。

幼稚園は子どもが主役です。子どもが幼稚園で安心して毎日元気に生活していけるように、子どもと保護者の皆様との信頼関係を大切に参ります。

初めてお子様を幼稚園に入園させる保護者の皆様は、お子さんの幼稚園生活に不安なこともおありかと思ひます。何でも相談して下さい。一緒に考え、お子さんのよりよい成長を促していきましょう。

子どもたちの「明るい笑顔と笑い声」が、園舎に響き渡る幼稚園を創ります。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度もご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

調布幼稚園のあゆみ

調布幼稚園は、大正15年に開園し、以来98年の歴史を刻み、卒業生6077名の有為な人材を社会に送り出してきた歴史と伝統のある幼稚園です。

開園当時は、国としての幼稚園教育の指針も示されていない時代でした。そのような中、先導的に幼児教育を進め、保護者の皆様、地域の方々、卒業生、真心をこめて園児を育てた教職員など、多くの方々のご尽力、ご支援の賜物で、本園は着実に幼児教育を推進しています。

4月の目標

全学年

- 安全な遊び方を確認しながら遊ぶ。
- 畑の様子や園舎周りの草や花等、自然を見たり触れたり、遊びに取り入れたりしながら春を感じる。

年少組

- 先生に親しみを感じる。
- 1日の生活の流れを感じたり、幼稚園での生活の仕方が分かったりする。
- 自分の好きな遊びを見付けようとする。
- みんながいる中で過ごせるようになる。

年中組

- 新しいクラス担任や友達に親しみをもち、喜んで登園する。
- 好きな遊びや、好きな遊具などに自分からかかわって楽しむ。
- 教師とのかかわりを基盤に、自分の思いを表しながら、友達と遊んだり生活したりすることを楽しむ。
- 教師や友達と一緒に、同じ場で同じことをして楽しんだり、自分なりの楽しみ方で遊ぶ楽しさを感じる。

年長組

- 新しいクラス担任や友達に親しみをもち、喜んで登園する。
- 新しい環境に自分からかかわり、自分のやりたい遊びを楽しむ。
- クラスの活動の中で、いろいろな友達とのかかわりを楽しむ。
- 一日の流れが分かって、自分たちの生活を進めていこうとする。

調布幼稚園の自然と子どもたち



4月 「待っていたよ！」と、お花や金魚、オタマジャクシたち

顧問 外崎 明美

畑では昨年度年中さんだった時に植えたジャガイモが芽を出す日を心待ちにしているようです。端っこの方では、毎年落ちた種から芽を出した菜の花が満開に咲いています。これから子どもたちが草花の花摘みをしたり、畑や園庭で虫を見付けたり、捕まえたりしてワクワクしている姿を見るのが楽しみです。

また、昇降口前の中庭では、昨年度年少さんだった時に植えたチューリップがきれいに咲き、また、そのままにしていたカブからはきれいな菜の花が咲き、昨年度年中さんが撒いた種からソラマメが花を咲かせています。また、育てて食べた小松菜から菜の花もきれいに咲いています。ほかに、たくさんのお花が咲いて、新しく入ってくる年少さんや転入してくるお友達や、進級する子どもたちを「待っていたよー」と言わんばかりに咲いて待っています。

昇降口やクラスで飼っている金魚やドジョウ、腐葉土の中で眠っているカブトムシの幼虫、越冬しているカタツムリ、そして教員が見付けてきたカエルの卵から孵化したオタマジャクシも、小松菜のゆでたものも食べ、「はやくみんなから餌をもらいたいな」と言っているかのように、待っています。みんなで見たり、餌をあげたりして興味やかわいいという思いやりの気持ちがはぐくまれていくのが楽しみです。

今年度は、調布幼稚園の自然環境に子どもたちがかかわっている様子なども交えながら、『調布幼稚園の自然と子どもたち』というテーマで子どもたちの心のときめきや思いやりの育ちを書いていきたいと思っています。

今年度もどうぞよろしくお願ひします。